

令和元年度 各専門部会・プロジェクト状況等報告書

1. 名称 【地域移行支援部会】

2. 部会員数 【38名】令和2年3月31日時点

3. 令和元年度の開催回数

4月			5月			6月		
会議	1	回	会議	1	回	会議	1	回
参加者	21	名	参加者	18	名	参加者	20	名
7月			8月			9月		
会議	1	回	会議	0	回	会議	1	回
参加者	20	名	参加者	0	名	参加者	21	名
10月			11月			12月		
会議	1	回	会議	1	回	会議	1	回
参加者	12	名	参加者	19	名	参加者	17	名
1月			2月			3月		
会議	1	回	会議	1	回	会議	0	回
参加者	20	名	参加者	21	名	参加者	0	名
会議開催総回数							10	回
参加者総数							189	名

4. 令和元年度の活動内容について

<p>【活動内容】 ○医療、福祉、行政より様々な職種や立場のメンバーが集い、以下の3つの柱に基づいた活動を行って参りました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 官民協働、医福連携のため、情報・意見交換の場【月1回、定例会の開催】 2. 地域移行支援を知ってもらうための活動【研修会、シンポジウムの開催】 3. 地域移行支援の個別給付を増やすための活動【指定一般相談支援事業所ヒアリング】 <p>※令和元年8月24日（土）に開催した「第5回地域移行推進シンポジウム」（別紙参照）では、前半に厚生労働省の地域移行支援専門官及び、東京都地域移行コーディネーターの方のご講演、後半は演習での意見交換を通じて、医療と福祉の連携への知識が深まり、実践につながる有効な研修会となった。（参加者70名）</p> <p>【効果】 ○地域移行支援の支給決定者数及び退院者数が昨年度よりも増えた。 ○医療メンバーの参加が定着し、地域援助事業者との顔の見える関係構築され、支給決定の数が増えることに繋がった。 ○指定一般相談支援事業所へ直接出向き、ヒアリング調査を行ったことで、現在携わっていない事業所と顔の見える関係の構築と意欲喚起、また、そこから部会への参加や新たな事業所による地域移行支援の実施につながった。</p>

5. 令和2年度の活動予定について

<p>『じわじわ（2020）と輪を広げて、もっと！届けよう！！』 ～もっと！帰りたくなる地域の絆づくり～を令和2年度の地域移行支援部会のビジョンに掲げ、利用者数月8人を目標に医療、福祉、行政より様々な職種や立場のメンバーが集い、以下の3つの柱に基づいた活動を継続していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 官民協働、医福連携のため、情報・意見交換の場【月1回、定例会の開催】 2. 地域移行支援を知ってもらうための活動【研修会、シンポジウムの開催】 3. 地域移行支援の個別給付を増やすための活動 <p>特に令和2年度は、平成27年に実施した『宮崎市精神科病院長期入院者実態調査』の後追い調査として新たに質問項目等を見直し、学識経験者の協力を得ながら宮崎市保健所と共働して、宮崎市内の7カ所の精神科病院にアンケート調査を実施することを主たる活動とする。また、今後は定例会のメンバーに他の関係機関にも参加してもらう等、精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築に関する協議の場としての要素を取り入れていくことも検討していく。</p>
